

Resona *Premium Meeting* りそな株主セミナー

参加費
無料

りそなグループでは、日頃ご支援いただいている株主さまを対象にセミナーを開催いたします。

第1部

マーケットセミナー

「国内外の景気動向とマーケット情報」

講師 黒瀬 浩一



りそな銀行 チーフ・マーケット・ストラテジスト(投資環境分析)
日経CNBC「昼エクスプレス」レギュラーコメンテーター等、各種情報メディアにて執筆・出演。

第2部

トップが語るこれからの「りそな」

ジャーナリスト 福島 敦子氏



NHK、TBSなどで報道番組を担当。テレビ東京の経済番組や週刊誌「サンデー毎日」での連載対談をはじめ、日本経済新聞、経済誌など、これまでに700人を超える経営者取材。上場企業の社外取締役も務める。

【東京】 800名程度	2017年2月18日(土) 13:30~16:00 (開場 13:00) 会場：東京国際フォーラム(ホールB7) 東京駅・有楽町駅 福島 敦子 氏 りそなホールディングス 社長 東 和浩 りそな銀行
【大阪】 800名程度	2017年2月23日(木) 13:30~16:00 (開場 13:00) 会場：ハービスホール(大ホール) 大阪駅・梅田駅 福島 敦子 氏 りそなホールディングス 社長 東 和浩 りそな銀行 近畿大阪銀行 社長 中前 公志
【埼玉】 500名程度	2017年3月2日(木) 13:30~16:00 (開場 13:00) 会場：大宮ソニックシティ(小ホール) 大宮駅 福島 敦子 氏 りそなホールディングス 社長 東 和浩 りそな銀行 埼玉りそな銀行 社長 池田 一義

お申込み方法

同封のはがき「りそな株主セミナー参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、ご投函ください。

締切

2016年12月26日(月) 消印有効

【ご注意ください】

■応募者多数の場合は抽選となります。抽選結果は2017年2月初旬までに郵送にてご案内します。電話等によるお問い合わせにはお答えできませんのでご了承ください。

■開催会場までの往復交通費は各自でご負担いただけます。(駐車場のご用意はありません。)

■やむを得ない理由で、内容変更または中止になることがあります。

お問い合わせ先

りそな株主セミナー専用フリーダイヤル

0120-22-3989

通話料無料

受付期間:2016年12月1日(木)~2017年3月2日(木)
受付時間:9:00~17:00(土・日・祝日を除く)

りそな Today

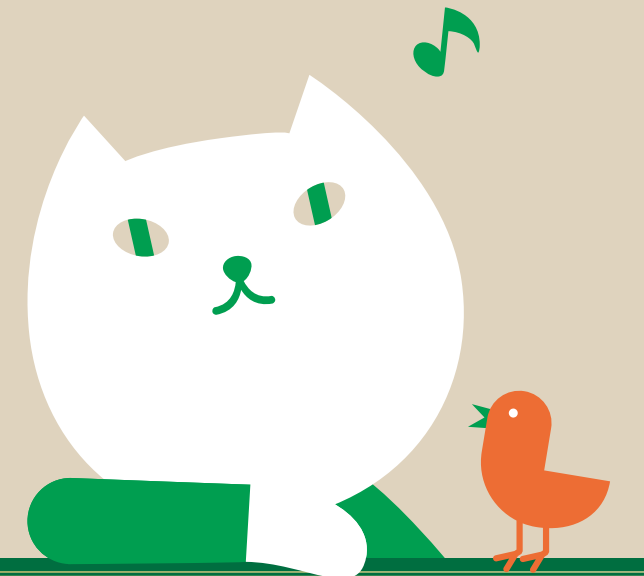
第16期 りそなグループ 中間報告書

(2016年4月1日~2016年9月30日)

いつでも使える。



“いつでもどこでも”
お客さまとつながる



Resona *Premium Meeting* りそな株主セミナー

詳しくは裏表紙をご覧ください

名 称 株式会社 **りそなホールディングス** 証券コード 8308
(英文名称 Resona Holdings, Inc.)

所在地 東京本社 〒135-8582 東京都江東区木場一丁目5番65号 電話(03)6704-3111(代表)

大阪本社 〒540-8608 大阪市中央区備後町二丁目2番1号 電話(06)6268-7400(代表)

この報告書は、
環境に配慮した
用紙・インキを
使用しています。



株式会社 **りそなホールディングス**

■ ごあいさつ



株主の皆さまにおかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当中間期の日本経済は、雇用・所得環境に着実な改善が見られる一方、英国のEU離脱決定等、海外経済の不確実性の高まりや円高の進行等もあり、先行き不透明な状況で推移しました。

こうしたなか、リソナホールディングス連結ベースの実質業務純益は、預貸金利回り差の縮小を主因とした資金利益の減少等を債券関係損益の積上げやローコスト運営の徹底等で一部補完し、前年同期比110億円の減益となる1,257億円となりました。一方、親会社株

主に帰属する中間純利益は、与信費用の改善を主因に前年同期比で112億円、期初目標を149億円上回る969億円となりました。こうした状況を踏まえ、親会社株主に帰属する当期純利益の通期目標を100億円上方修正し、1,700億円といたしました。なお、不良債権比率は1.42%、自己資本比率は12.58%と、引き続き健全な財務体質を維持しています。

中間配当は、期初予想通り1円の増配となる9.5円とさせて頂きました。これは、期初にお示した通り、第6種優先株式の取得・消却により減少が見込まれる優先配当を見合いに普通株主への年間配当金を1株当たり2円増配し、19円とする方針に沿うものです。

ビジネス環境が大きく変わる中、従来型ビジネスからの進化を図り、お客さまに新たな価値を提供し続けることで、リテールNo.1の実現を目指してまいります。当中間期には、国内全エリアを対象とする新たなチャネル「リソナスマートストア」の第2弾として、「リソナスマート口座(愛称:リそにゃスマート口座)」の取扱を開始したほか、年中無休営業のセブンデイズプラザを2拠点開設し、グループで13拠点体制としました。引き続き、お客さまの利便性向上のため、ネットとリアルを融合するオムニチャネル戦略を加速してまいります。

私どもリソナグループは、地域のお客さまにもっとも支持され、ともに未来へ歩み続ける「リテールNo.1」の金融サービスグループを目指して、「お客さまの喜びがリソナの喜び」という基本姿勢を堅持し、改革を加速させるとともに、これからも透明性の高い経営を継続し、グループ企業価値の最大化に努めてまいります。

今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。 2016年12月

INDEX



オムニチャネル戦略 P04

- 年中無休店舗<セブンデイズプラザ>全国13拠点へ
- 「リソナスマートストア」第2弾「リソナスマート口座」取扱開始

個人のお客さま向けサービスの拡充... P06

- 若者向け新サービス「RESONA U25」スタート
- iDeCo(個人型確定拠出年金)を全国の窓口で

中小企業のお客さま向け支援 P08

- 新規ビジネスを応援「ビジネスプラザおおさか」オープン
- 海外ネットワーク拡大

CSRへの取り組み P10

リソナグループの業績 P12

財務諸表(連結) P16

3行の概況／株式の状況 P18

株式事務のご案内／個人情報のお取り扱い P20

リソナの株主優待 P22

リソナ株主セミナー開催のお知らせ 裏表紙



圧倒的なお客さま利便性の実現に向け、取引「時間」と「空間」の常識の打破に挑戦しています。

2016年5・6月

年中無休店舗<セブンデイズプラザ> 2拠点増強し全国13拠点へ仕事帰りや休日に住宅ローンや保険の見直しをご相談いただけます

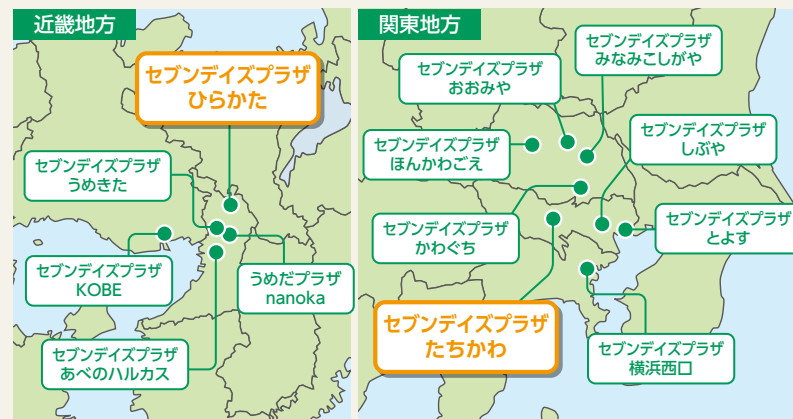
2016年5月に、大阪府枚方市に「セブンデイズプラザ ひらかた」を開設しました。蔦谷書店を中心としたライフスタイルを提案する商業施設「枚方T-SITE」内にあり、本に囲まれたリビングの中のように、ゆったりとご相談いただける空間をご用意しています。

2016年6月には、JR中央線沿線で初となる「セブンデイズプラザたちかわ」を開設、グループの年中無休店舗は13拠点となりました。今後は15拠点にさらに拡大する予定です。



▲2016年5月 セブンデイズプラザひらかた

年中無休店舗 (2016年9月末現在)



2016年8月

日本中からお申込みいただける「りそなスマートストア」から第2弾「りそなスマート口座」の取扱を開始しました

「りそなスマートストア」はお客さまの多様化する趣味・嗜好に合わせ、よりお得に、便利に感じていただけるサービスを、インターネットを通じて全国に提供する新たなチャネルです。

2016年3月に第1弾としてJALのマイルがお得に貯まる「りそなJALスマート口座」の取扱を開始。そして、2016年8月第2弾となる「りそなスマート口座(愛称:りそにゃスマート口座)」をスタート。りそなVisaデビットカードのご利用で、「りそなクラブポイント」がお得に貯まる特典をご用意しました。また、お客さまからご要望の多かったりそなグループの「りそにゃ」が初めてカードデザインに起用されています。



これまでは...



「りそなスマートストア」なら...



- 国内全エリアが対象
- スマホで簡単に口座開設、残高照会や振込手続も専用アプリで簡単
- 使ったその場で引き落とせるVisaデビット機能付

りそなならではの商品・サービスで お客さまのニーズにお応えします。



2016年7月

若年層のニーズに応える新サービス 「RESONA U25」がスタートしました



25歳以下なら誰でも、りそなグループATM手数料が無料、さらに、りそなVisaデビットカードの年会費も無料となる新たなサービス「RESONA U25」を7月よりスタートしました。りそなグループのポイントサービスに入会するだけで自動適用され、お申込手続は不要です。

25歳以下なら /
りそなグループ
ATM手数料
いつでも 0円

※ポイントサービスにご入会いただいていることが条件です。

25歳以下なら /
りそな
Visaデビット
カード年会費 0円

※初年度年会費は年齢に関わらず無料です。
※2年目以降の年会費引落月前月末時点で25歳以下の方が対象となります。

<りそなVisaデビットカードの年会費無料特典>

Visaデビットカードにお申込みいただいた年会費引落月前月末時点で25歳以下のお客さまが対象です。15歳以上の個人のお客さまがお申し込みいただけます。

※りそなスマート口座も対象となります。

※満26歳誕生月の翌月1日より、RESONA U25サービスは自動終了となり、以降はお取引内容に応じて、所定の手数料がかかります。なおサービス終了時に当社からのご案内はいたしませんのであらかじめご了承ください。各商品・サービスにかかる手数料等の詳細は、各ガイドブックをご確認ください。

お客さまのさまざまなライフイベントやライフプランに応じた資産形成や生活設計をりそなならではの商品・サービスでサポートすることで“個人取引No.1の『りそな』”としてのブランドを確立していきます。

2016年4月～

全国約600ヶ店の窓口で個人型確定拠出年金 (iDeCo)のご相談をいただけます

運営管理機関
手数料2年間

0円

※2017年1月より

2017年の制度改正により、個人型確定拠出年金(iDeCo)の加入対象者が拡大します。りそなグループでは、全国約600ヶ店でiDeCoのご相談をいただけるほか、Webサイト「確定拠出年金スタートクラブ」を2016年10月より立ち上げました。このサイトでは、年金制度や投資のポイントなどのお得な知識を、いつでもお客さまのお好きな時間に無料で学んでいただけます。なお、2017年1月からは、全加入者を対象に運営管理機関手数料が2年間無料となるサービスを大手行で初めて実施し、お客さまの資産形成ニーズにお応えします。

■ 確定拠出年金スタートクラブURL <https://dc-startclub.com/>

個人型確定拠出年金(iDeCo)とは

個人で掛け金を積み立て、運用成果に応じて支給額が決まる年金制度で、税制上の優遇があります。2017年1月から専業主婦や公務員の方なども対象となり、さらなる利用拡大が見込まれます。

3つの税制優遇

掛金が
全額所得控除
されます

運用益も
非課税で
再投資されます

受け取るときも
税制優遇措置
があります

TOPICS

日本経済新聞
「銀行リテール力調査」

りそな銀行
2位

埼玉りそな銀行
4位

近畿大阪銀行
17位

日本経済新聞社・日経リサーチが実施した「銀行リテール力調査」において、営業時間の拡大によりお客さまとの接点を広げたことや、店舗での丁寧な接客やあいさつが高評価に繋がりました。



中堅・中小企業向け「成長・再生・承継ソリューション」の強化に取り組んでいます。

2016年9月

「産・官・学・民」のコラボで新規ビジネスを応援する「ビジネスプラザおおさか」をオープンしました

地域社会の活性化や新規ビジネス創出のための拠点「りそなグループビジネスプラザおおさか」を9月にオープンしました。各種商談会や交流会を通じ、地域

社会の皆さまが抱えるさまざまな課題を解決し、新たなビジネスへと発展させていくための、人と情報が幅広く行き交う空間を提供いたします。

さまざまなセミナーイベントを開催しています

10月28日 農業参入ビジネスセミナー

数々のメディアに取り上げられている農業参入企業の社長を講師としてお招きし、農業界の現状や、経営管理・リスクマネジメントについて講演いただきました。



共催：りそな銀行・近畿大阪銀行、株式会社マイファーム
株式会社ファーム・アライアンス・マネジメント

10月29日 インバウンド向けモニターイベント

関西のインバウンド消費の取り込みを通じて成長したいという企業の声に応えるために、外国人留学生を対象としたモニター会を開催しました。外国人ならではの意見は、出展企業の今後の商品開発に大いに参考となりました。



共催：りそな銀行・埼玉りそな銀行・近畿大阪銀行、大阪産業創造館
後援：CARES-Osaka

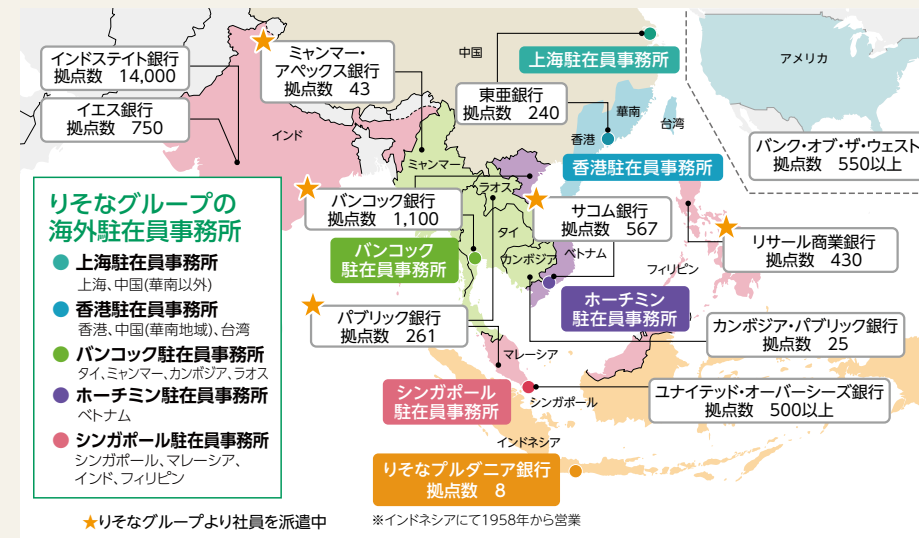
中堅・中小企業のお客さまに、資金調達のみならず、グループのネットワークと信託・不動産機能を活かしたソリューションを提供していきます。

国内最大の信託併営銀行として、不動産ビジネス(15頁)・資産承継ビジネス(15頁)においても他社にはない強みを発揮しています。

2016年4月～

ベトナム、インド、米国、シンガポールへ海外提携ネットワークは14カ国・地域、17行へ拡大しています

2016年度には、ベトナム、インド、米国、シンガポールの地場金融機関とそれぞれ業務提携を結び、海外金融機関との提携ネットワークは14の国と地域、17行に拡大しました。りそなグループの海外駐在員事務所が地場金融機関と連携し、お客さまの海外進出支援をきめ細かくサポートしています。



TOPICS

R&I「年金情報」満足度アンケート1位(2015年、バランス運用部門)

年金専門誌「年金情報」(R&I:投資格付情報センター発行)が実施した運用委託先の満足度アンケート(バランス運用部門)で1位となりました。

社会が直面するさまざまな課題解決を通じて、
持続可能な社会づくりに貢献します。



ダイバーシティ

次世代

りそな未来財団で「母と子の交流イベント」開催

一般財団法人「りそな未来財団」では、シングルマザー世帯の母子を対象に「りそなDAYキャンプ」を開催。関東・関西2カ所で合計87名の母子が参加しました。子どもたちが人と人とのふれあいや将来について考えるきっかけ作りとなつてほしいという思いから生まれたイベントで、カレー作りやカヌー体験を楽しみながら、子ども同士、親同士の交流を深めました。



▲2016年10月23日(六甲山YMCA)

次世代

「りそなキッズマネーアカデミー」卒業生は28,000人超

12年目を迎えた今年は、全国のりそなグループの銀行(りそな銀行、埼玉りそな銀行、近畿大阪銀行)で合計213回開催。約3,700名の小学生が参加しました。今年は保護者の皆さまからご希望の多かった低学年向けの開催会場を拡大。また、地域の企業・団体とのコラボレーション企画も多数開催し、「食」や「防犯」などさまざまなテーマで授業が展開されました。



りそなグループでは「地域」、「次世代」、「ダイバーシティ」、「環境」の4つを重点課題として掲げ、従業員一人ひとりが日常業務を通じてCSR活動を実践している他、自発的なボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。

環境

地域

東日本復興支援活動「りそなの絆」被災地植樹プロジェクト

東北地方の森林や海岸防災林を元の姿に戻すため、全国の子どもたちに育ててもらった苗木を植樹する活動です。2013年3月からスタートし、宮城県岩沼市「千年希望の丘」に植樹しています。2016年7月には、りそなグループの役員・従業員およびその家族総勢125名が参加し、1本1本想いを込めて植樹しました。



▲2016年7月2日(岩沼市「千年希望の丘」)

ダイバーシティ

「同一労働・同一賃金」を実現する人事制度を拡充

りそなグループでは、勤務時間や業務範囲を限定した「スマート社員」を2016年4月よりスタート。従来から社員、パートナー社員(パートタイマー)で同一労働・同一賃金を実現していましたが、さらにスマート社員を加えることで、育児や介護等のライフスタイルに応じてより柔軟に働き方を選べるようになりました。こうしたりそなグループの人事制度が注目され、加藤勝信働き方改革担当相が視察に来社されたり、各種マスメディアでも多数取り上げられています。



親会社株主に帰属する中間純利益は、969億円となりました。

実質業務純益は、貸出金利回り低下による資金利益の減少や、金融商品販売の減速を受けた役務取引等利益の減少を、債券関係損益の積み上げやローコスト運営の徹底などで一部補完し、前年同期比で110億円の減益となる1,257億円となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益は、与信費用の改善などにより、前年同期比で112億円の増益となりました。

■ 損益の状況 (りそなホールディングス連結) (単位:億円)

	2014年9月期	2015年9月期	2016年9月期	前年同期比
業務粗利益	3,104	3,076	2,980	△96
資金利益*1	2,101	2,032	1,882	△150
信託報酬	112	110	90	△20
役務取引等利益*2	725	771	755	△16
その他業務粗利益	164	162	252	+89
経費(除く銀行臨時処理分)	△1,748	△1,710	△1,723	△13
実質業務純益*3	1,356	1,368	1,257	△110
株式等関係損益(先物込)	143	23	16	△7
与信費用*4	239	△212	105	+317
その他損益等	122	34	△28	△62
税金等調整前中間純利益	1,861	1,213	1,350	+137
税金費用ほか	△534	△356	△381	△25
親会社株主に帰属する中間純利益	1,327	857	969	+112

資金利益は、貸出金残高が前年同期比で増加した一方で利回りが低下したことから減少しました。

信託報酬は、受託先総合基金の解散などもあり、減少しました。

役務取引等利益は、不動産業務収益が増収となりましたが、金融商品販売収益が減少しました。

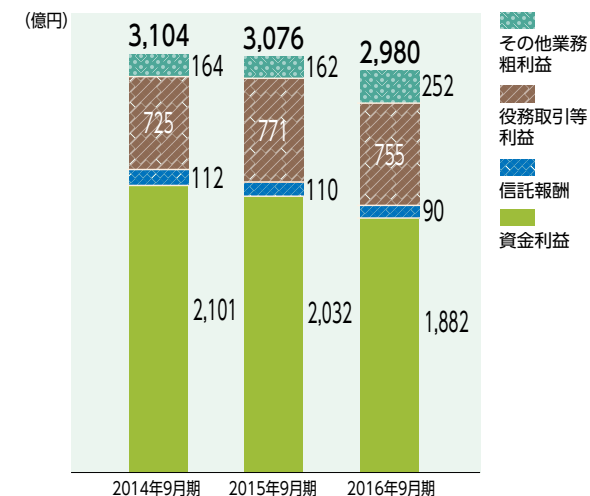
その他業務粗利益では、債券関係損益が増加しました。

与信費用は、新規発生が低水準であったことなどから、戻入となりました。

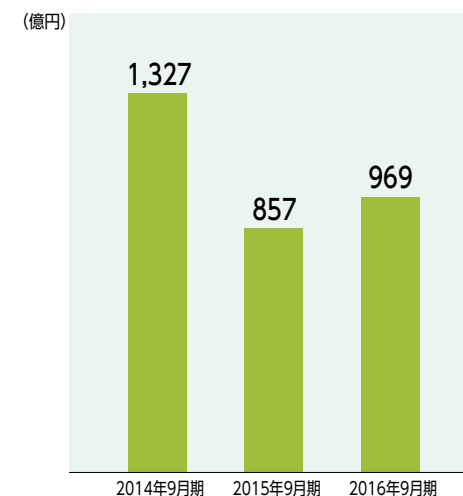
用語解説

- *1 資金利益 貸出や有価証券運用などによる資金運用収益から、預金利息などの資金調達費用を差し引いた収支のことです。
- *2 役務取引等利益 投資信託の販売やお振込、不動産仲介など、サービス提供の対価としてお客さまから頂く手数料収入のことです。
- *3 実質業務純益 業務粗利益(除く信託勘定不良債権処理額)から、経費(除く銀行臨時処理分)を引くなどしたものです。
- *4 与信費用 貸出金などに対する貸倒引当金の計上や償却処理に要した費用のことです。貸倒引当金の戻入や償却債権取立益をネットした計数を表示しています。
- *5 経費率 業務粗利益に占める経費(除く銀行臨時処理分)の比率のことです。効率性を示す指標の一つで、比率が低いほど効率的であることを示します。

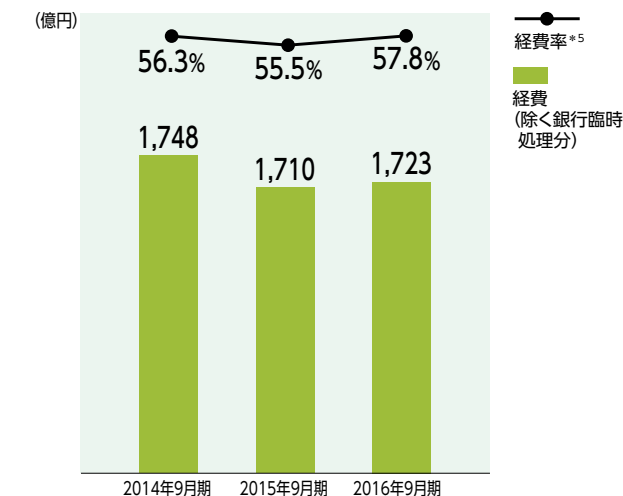
■ 業務粗利益



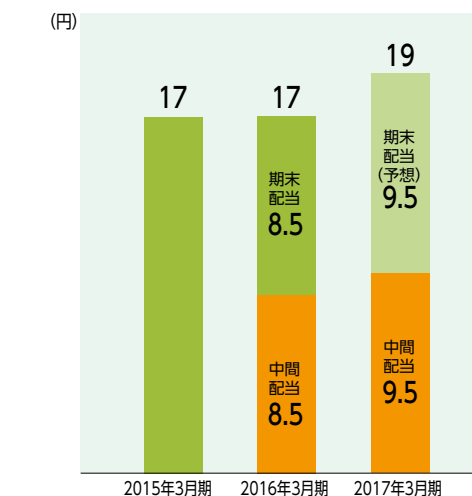
■ 親会社株主に帰属する中間純利益



■ 経費(除く銀行臨時処理分)



■ 普通株式1株当たり配当金

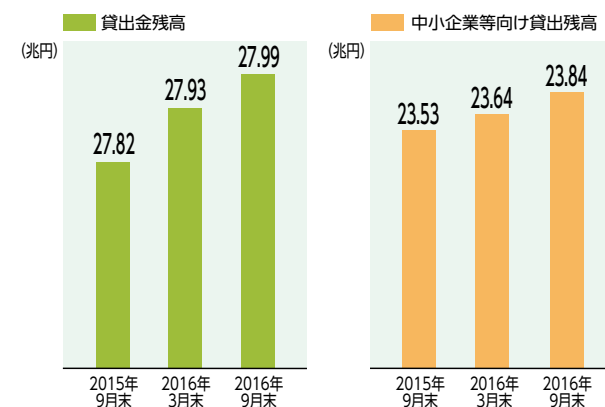


資産・負債の状況

貸出金残高は増加基調が継続、不良債権比率、自己資本比率は引き続き健全な水準を維持しています。

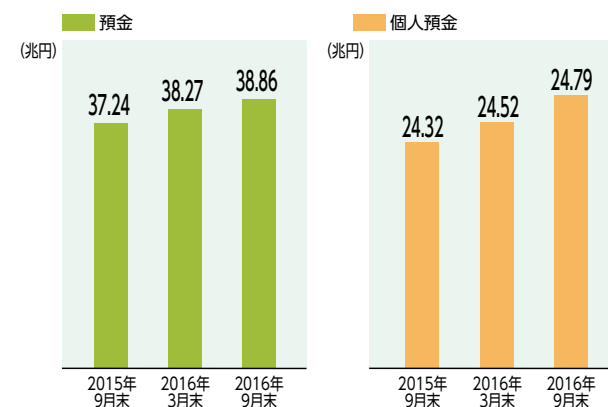
■貸出金残高（グループ銀行合算）

貸出金残高は、前年同期比で約0.6%の増加となりました。



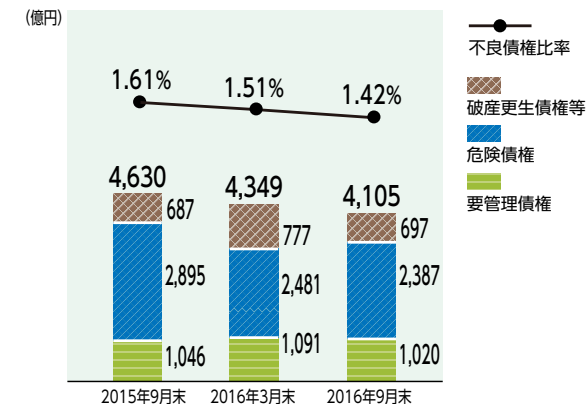
■預金残高（グループ銀行合算）

預金残高は、増加基調が続いています。



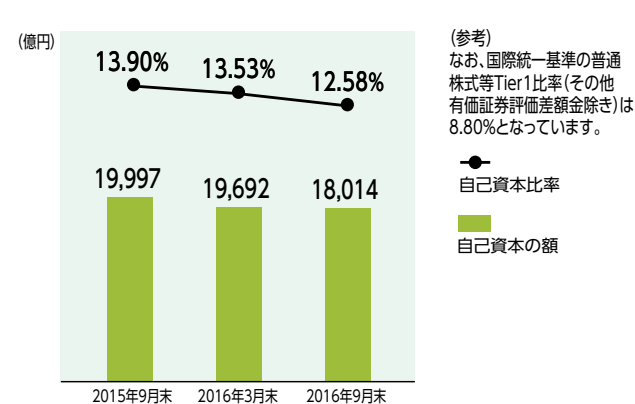
■不良債権および不良債権比率（グループ銀行合算・金融再生法基準）

不良債権比率は1.42%と、引き続き健全な水準を維持しています。



■自己資本比率（りそなホールディングス連結）

自己資本比率（国内基準）は、規制上必要な4%を十分に確保する12.58%と、健全な水準を維持しています。



主要ビジネス

個人のお客さま向けのトータルライフソリューション、法人のお客さま向けの成長・再生・承継ソリューションに取り組んでいます。

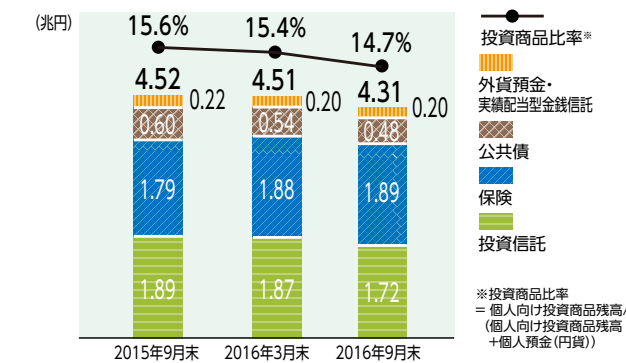
■住宅ローン残高（グループ銀行合算）

訴求力ある商品や休日営業体制の整備などにより、住宅ローン残高は順調に増加しました。



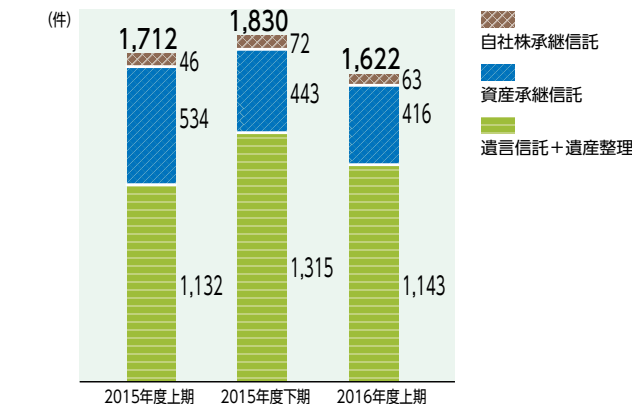
■個人向け投資商品残高（グループ銀行合算）

投資信託の残高は時価変動により減少しましたが、保険の残高は引き続き増加しています。



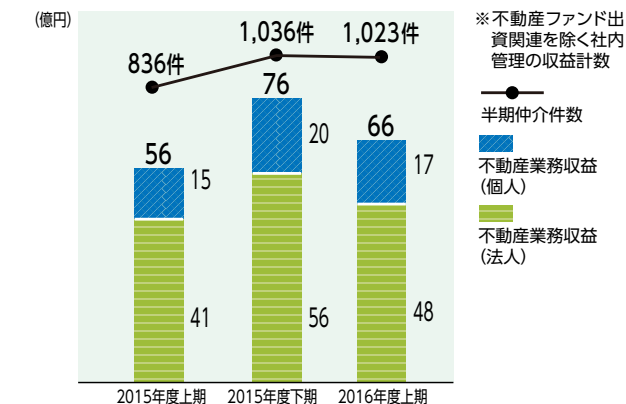
■資産承継 新規利用件数（りそな銀行）

埼玉りそな銀行、近畿大阪銀行も含めた幅広いお客さまにりそな銀行の信託機能をご利用いただいています。



■不動産業務（りそな銀行）

法人のお客さま、個人のお客さまの多様なニーズにお応えし、件数・収益共に前年同期比で増加しました。



財務諸表 / 連結

※金額については単位未満を切捨て表示しております。

■ 中間連結貸借対照表 (単位:億円)

2016年3月31日現在 2016年9月30日現在

[illegible]

2016年3月31日現在 2016年9月30日現在

負債の部		
預金	382,288	387,862
譲渡性預金	13,445	11,588
コールマネー及び売渡手形	6,069	9,145
売現先勘定	59	50
債券貸借取引受入担保金	1,451	7,699
特定取引負債	2,916	2,438
借入金	8,090	6,136
外国為替	19	28
社債	6,248	4,820
信託勘定借	37,076	7,827
その他負債	9,850	9,298
賞与引当金	169	105
退職給付に係る負債	325	154
その他の引当金	402	472
繰延税金負債	1	1
再評価に係る繰延税金負債	201	201
支払承諾	4,314	4,228
負債の部合計	472,929	452,060
純資産の部		
資本金	504	504
利益剰余金	13,995	14,730
自己株式	△19	△14
株主資本合計	14,481	15,220
その他有価証券評価差額金	3,474	3,305
繰延ヘッジ損益	495	502
土地再評価差額金	440	440
為替換算調整勘定	△30	△43
退職給付に係る調整累計額	△701	△643
その他の包括利益累計額合計	3,678	3,561
非支配株主持分	174	169
純資産の部合計	18,334	18,950
負債及び純資産の部合計	491,264	471,011

■ 中間連結損益計算書 (単位:億円)

自 2015年4月 1日	自 2016年4月 1日
至 2015年9月30日	至 2016年9月30日

経常収益	4,080	3,905
資金運用収益	2,245	2,020
（うち貸出金利息）	(1,786)	(1,635)
（うち有価証券利息配当金）	(278)	(226)
信託報酬	110	90
役務取引等収益	1,015	1,004
特定取引収益	46	52
その他業務収益	218	242
その他経常収益	442	495
経常費用	2,862	2,574
資金調達費用	213	138
（うち預金利息）	(73)	(50)
役務取引等費用	244	249
特定取引費用	-	0
その他業務費用	103	41
営業経費	1,736	1,810
その他経常費用	565	334
経常利益	1,218	1,330

自 2015年4月 1日	自 2016年4月 1日
至 2015年9月30日	至 2016年9月30日

特別利益	0	31
固定資産処分益	0	31
特別損失	5	11
固定資産処分損	3	6
減損損失	2	4
税金等調整前中間純利益	1,213	1,350
法人税、住民税及び事業税	201	337
法人税等調整額	137	29
法人税等合計	339	366
中間純利益	874	984
非支配株主に帰属する中間純利益	17	14
親会社株主に帰属する中間純利益	857	969

■ 中間連結株主資本等変動計算書 (単位:億円)

自 2016年4月 1日
至 2016年9月30日

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額						非支配株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ損益	土地 再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	504	－	13,995	△19	14,481	3,474	495	440	△30	△701	3,678	174	18,334
当中間期変動額													
剰余金の配当			△234		△234								△234
親会社株主に帰属する中間純利益			969		969								969
自己株式の取得				△0	△0								△0
自己株式の処分		△0		4	4								4
利益剰余金から資本剰余金への振替		0	△0		－								－
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)						△169	7	－	△13	57	△117	△5	△123
当中間期変動額合計	－	－	734	4	738	△169	7	－	△13	57	△117	△5	615
当中間期末残高	504	－	14,730	△14	15,220	3,305	502	440	△43	△643	3,561	169	18,950

3行の概況

※金額については単位未満を切捨て表示しております。

■りそな銀行

総資金量・総貸出金の推移 (単体)			
	2015年9月末	2016年3月末	2016年9月末
総資金量	376,458	396,576	364,829
総貸出金	184,234	185,195	185,349

※総資金量は、預金、譲渡性預金、金銭信託、年金信託および財産形成給付信託の合算です。
※総貸出金は、銀行勘定、信託勘定の合算です。

損益の推移 (単体)			
	2015年9月期	2016年3月期	2016年9月期
業務粗利益	1,861	3,835	1,871
経費	△1,061	△2,140	△ 1,071
実質業務純益 ※1	799	1,694	800
与信費用	△230	△248	59
中間(当期)純利益	434	1,008	608

自己資本比率の推移 (連結・国内基準)			
	2015年9月末	2016年3月末	2016年9月末
自己資本の額	14,887	13,617	12,734
リスク・アセット等 ※2	105,595	106,566	104,853
自己資本比率(%)	14.09	12.77	12.14

■近畿大阪銀行

預金・貸出金の推移 (単体)			
	2015年9月末	2016年3月末	2016年9月末
預金(譲渡性預金を含む)	33,453	32,668	33,335
貸出金	24,673	24,356	24,211

損益の推移 (単体)			
	2015年9月期	2016年3月期	2016年9月期
業務粗利益	256	510	219
経費	△185	△375	△ 187
実質業務純益 ※1	71	134	32
与信費用	22	29	22
中間(当期)純利益	80	223	52

自己資本比率の推移 (連結・国内基準)			
	2015年9月末	2016年3月末	2016年9月末
自己資本の額	1,529	1,540	1,542
リスク・アセット等 ※3	13,410	13,796	13,575
自己資本比率(%)	11.40	11.16	11.36

■埼玉りそな銀行

預金・貸出金の推移 (単体)			
	2015年9月末	2016年3月末	2016年9月末
預金(譲渡性預金を含む)	116,470	123,196	123,581
貸出金	69,306	69,769	70,437

損益の推移 (単体)			
	2015年9月期	2016年3月期	2016年9月期
業務粗利益	716	1,374	662
経費	△372	△747	△ 374
実質業務純益 ※1	344	626	288
与信費用	2	△16	3
中間(当期)純利益	243	402	213

自己資本比率の推移 (単体・国内基準)			
	2015年9月末	2016年3月末	2016年9月末
自己資本の額	4,407	3,802	4,008
リスク・アセット等 ※2	27,392	27,593	27,195
自己資本比率(%)	16.08	13.78	14.73

〔ご参考〕グループ銀行(単体)の合算

グループ銀行合算の業務粗利益は、利ざやの縮小に伴う資金利益の減少などを、貸出金増加や債券関係損益の増加などにより一部補完して、2,754億円(前年同期比△80億円)となりました。与信費用につきましては、86億円の戻入(前年同期比+292億円)となり、大幅に改善しました。以上の結果、中間純利益は、873億円(前年同期比+115億円)となりました。

損益の推移〈グループ銀行合算〉			
	2015年9月期	2016年3月期	2016年9月期
業務粗利益	2,834	5,720	2,754
経費	△1,619	△3,263	△ 1,633
実質業務純益 ※1	1,215	2,456	1,120
与信費用	△205	△234	86
中間(当期)純利益	757	1,633	873

(※1) 実質業務純益は、業務粗利益(信託勘定に係る不良債権処理額を除く)から人件費等の経費を差し引いたものであり、銀行本来の業務活動による利益を表しております。

(※2) リスク・アセット等のうち、信用リスク・アセットの計測手法は、先進的内部格付手法(A-IRB)です。

(※3) リスク・アセット等のうち、信用リスク・アセットの計測手法は、基礎的内部格付手法(F-IRB)です。

株式の状況

2016年9月30日現在

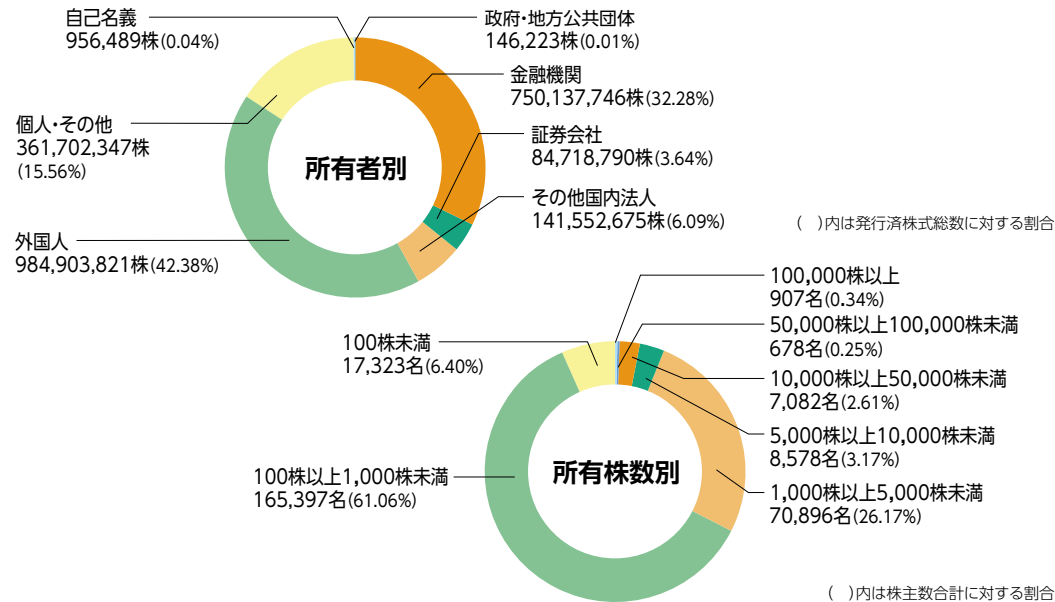
発行済株式総数 2,331,118,091株 (うち普通株式2,324,118,091株、優先株式7,000,000株)

株 主 数 普通株式 270,861名

大 株 主
(上位10位)

株主の氏名または名称	持株数(千株)	持株比率(%)
第一生命保険株式会社	125,241	5.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	86,394	3.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	72,686	3.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	65,611	2.82
日本生命保険相互会社	65,488	2.81
AMUNDI GROUP	45,133	1.94
GOLDMAN, SACHS & CO.REG	41,136	1.76
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	40,177	1.72
CGMI PB CUSTOMER ACCOUNT	36,637	1.57
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA／NV 10	33,896	1.45

普通株式の 分布状況



株式事務のご案内

決 算 期	毎年3月31日に決算を行います。
定 時 株 主 総 会	基準日を3月31日とし、毎年6月に開催いたします。
配 当 金	基準日は3月31日および中間配当金の支払を行うときは9月30日といたします。
公 告 方 法	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由により電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載します。 *公告掲載の当社ホームページアドレス(決算公告も含む) http://www.resona-gr.co.jp/holdings/other/koukoku/
単 元 株 式 数	単元株式数は100株です。

■ 株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

お手続き、ご照会の内容		お問い合わせ先	
●郵便物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関する照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社	
	郵便物の送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
	電話番号	☎0120-782-031	
	インターネットホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html	
●上記以外のお手続き、ご照会等は、右記のいずれかの窓口にお問い合わせください。	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社	口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。
	特別口座*の場合	特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
		郵便物の送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
		電話番号	☎0120-782-031

※特別口座について 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。

株主さまの個人情報のお取扱いについて

株式会社りそなホールディングス(以下、「当社」といいます)は、会社法に基づく株主さまの権利の行使、会社法等関係法令に定める当社の義務の履行および当社の業務の円滑な遂行のため、株主さまの個人情報(氏名・住所・保有株式数等)を利用させていただいております。

当社は、これらの株主さまの個人情報につきまして、適切な保護を重大な責務と認識し、個人情報の保護に関する法律、会社法、その他の関係法令および当社の諸規則を遵守し、適切な保護と利用に努めます。

1 株主さまの個人情報の利用目的について

当社は、直接または株主名簿管理人を通じて株主さまの個人情報を取得いたしますが、これらの株主さまの個人情報を、以下の目的に利用させていただきます。

- (1) 会社法に基づく権利の行使・義務の履行のため
- (2) 株主さまとしての地位に対し、当社および当社子会社(下記2.(1)記載の会社をいいます。以下同様です。)から各種便宜を供与するため

(3) 株主さまと当社および当社子会社との双方の関係を円滑にする各種の方策を実施する(当該方策の実施を目的として、株主さまの個人情報を当社子会社に提供することを含む)ため

(4) 各種法令に基づく所定の基準による株主さまのデータを作成するなどの株主さまの管理のため

2 第三者提供の制限および事前の同意なく当社子会社に情報を提供する場合について

当社は、法令で認められている場合を除いて、原則として、あらかじめ株主さまの同意を得ることなく株主さまの個人情報を第三者に提供いたしません。

ただし、上記1. 記載の利用目的の達成に必要な範囲内において、個人情報保護法第23条第2項に基づき、株主さまご本人の求めに応じて提供を停止することを前提として、株主さまの同意をいただくことなく、以下のとおり、株主さまの個人情報を当社子会社に対して提供することがあります。なお、当社子会社に対する個人情報の提供の停止をご希望される場合は、下記3. 記載のご連絡先までご連絡ください。

(1) 当社が株主さまの個人情報を提供する当社子会社

- 株式会社りそな銀行
- 株式会社埼玉りそな銀行
- 株式会社近畿大阪銀行

(2) 提供する個人データの項目

- 氏名・住所
- 保有株式数
- 株主番号および登録時期に関する情報

(3) 提供する手段または方法

- 電子媒体により交付する方法

3 株主さまの個人情報の提供停止についてのご連絡先

電話番号 東京 03-6704-3111(代表)
大阪 06-6268-7400(代表)
受付時間 9:00～17:00 (銀行休業日を除く)

なお、株主さまから過去に個人情報の提供の停止をご希望される旨のご連絡をいただいた場合には、当社はご連絡をいただいた株主さまの個人情報を当社子会社に対して提供することはありませんので、再度ご連絡をいただく必要はございません。

りそなの株主優待

銀行を賢く使いこなそう!

りそなの株主優待は保有株式数に応じて
りそなグループのクラブポイントを進呈します。

※りそな銀行・埼玉りそな銀行・近畿大阪銀行に個人名義の普通預金口座
およびポイントサービスへのご入会が必要です。また適用には所定の条件があります。



●ポイントサービス(クラブポイント)とは?

りそなグループ各銀行とのお取引でためたポイントをパートナー企業のいろいろなポイントやマイルに交換できたり、手数料等の優遇を受けられる会費無料のポイントサービスです。

株主優待
を申込む

りそな
クラブ
埼玉りそな
クラブ
近畿大阪
クラブ

優遇を受ける!

りそなグループ
ATM手数料無料など



ポイントを使う!

ためたポイントをパートナー
企業のポイントやマイルに交換!



※パートナー企業の一例

上手なクラブポイント活用術

りそなグループのポイントサービスは株主優待ではありません。**給与や年金の受け取り口座**に利用したり、**積立定期**を預け入れたり、さらに**住宅関連ローンのご利用**でもポイントをとめることが出来るのです。普段の生活の中での銀行利用でポイントは着実にたまります。さあ、銀行を賢く使いこなしましょう!

例えば...



株主優待(4,000株)
月間 200ポイント
年金のお受取り
月間 20ポイント
お預入れ金融資産
(月末残高1,000万円)
月間 100ポイント
貸金庫ご契約有
月間 20ポイント

株主優待の進呈ポイントは保有株式数によって異なります

保有株式数	月間 (最大200ポイント)	年間 (最大2,400ポイント)	ステータス
100株以上500株未満	20ポイント	240ポイント	パール
500株以上600株未満	25ポイント	300ポイント	
600株以上700株未満	30ポイント	360ポイント	
⋮	100株ごとに5ポイント(年間最大60ポイント)加算		
2,000株以上2,100株未満	100ポイント	1,200ポイント	ルビー
⋮	100株ごとに5ポイント(年間最大60ポイント)加算		
4,000株以上	200ポイント	2,400ポイント	ダイヤモンド

毎年お申込みが
必要です!
お済みでない方は
お急ぎください!



2016年度の申込締切日は、**2016年12月31日(土)**(消印有効)です!

※2016年3月末時点の株式1単位(100株)以上を保有の株主さまが対象

※WEB(マイゲート)申込は2017年3月31日(金)まで可能です。

※対象の株主さまには2016年6月に株主優待券兼株主優待申込書を郵送しています。

株主優待専用ダイヤル(通話料無料)

0120-13-1036

受付時間:9:00~17:00(土・日・祝日を除く)

優遇を受ける!

月3回まで
ATM振込手数料0円*

※キャッシュバック

月間 計340ポイントで



ためた
ポイントを使う!

旅行代金の一部に

たまには
のんびり
温泉でも



1年間ためると

⇒4,080ポイント

(ポイントアップ特典は考慮していません)



※ポイントサービスの詳細については、店頭の「ポイントサービスご利用ガイドブック」もしくは各銀行のホームページをご確認ください。